

株式会社アイルリンク_2タイプの歩行器の新商品デザイン

令和7年度デザインマッチング事業

デザイナー・クリエイターの皆様へ

このマッチングシートは、本事業の参加企業から提出されたデザイン案件の概要です。マッチング（デザイン提案）したい企業を選ぶ際の参考にしてください。

（※複数企業への応募も可能です）

1. 企業の概要

企業名	株式会社アイルリンク
代表者職氏名	代表取締役 生本 寛
業種	福祉用具製造販売事業
所在地	〒700-0971 岡山県岡山市北区野田 3-16-1
事業内容	1. 福祉用具製造販売事業 介護保険適用歩行車 4 機種の製造販売 2. 福祉用具レンタル卸事業 岡山県下 24 店舗の加盟店を持つ福祉用具専門家集団モアネットの運営 3. 指定福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業 4. 指定居宅介護支援事業所 5. 指定訪問看護事業 6. 指定通所介護事業 7. アイルケアグループ FC 本部事業部  アイルリンク ●福祉用具開発・レンタル卸 ●デイサービス運営 ●在宅介護(訪問看護)  福祉用具開発・販売 自社製品を開発 市場に販路を確保  福祉用具レンタル 約4000品目を取扱い 岡山県内全域へ配送  デイサービス  専門家チーム

株式会社アイルリンク_2タイプの歩行器の新商品デザイン

自社技術	介護用品開発における技術とノウハウ 1. データと現場の目線 ・ レンタル用品 27 万件以上の取引データと約 4,000 品目の出荷情報 2. 専門家チームの監修 ・ 福祉用具専門相談員・理学療法士など専門的視点を持つメンバーが参画 ・ 各部門の知識とネットワークを活かし、企画から商品テストまで自社内で完結 3. 独自の立場を活用した多様な販路 ・ 全国の福祉用具卸事業者と県内 25 社の貸与事業所のパイプ役により双方への販路の確保 4. 加工技術（協力会社） ・ OEM 企業の高品質な技術で開発をサポート ・ OEM 企業の自社試験機の保有（SG マーク認定対応）
-------------	---

2. デザインマッチング案件

カテゴリー 選択してください	☒【新規開発】新商品のデザイン（企画段階や設計・試作段階でも構いません） ☒【改良】既存商品を刷新するためのデザイン
デザイン案件 の概要	※デザインしてもらいたい商品の概要など、現段階で決まっていることを情報公開しても差し支えない範囲で記入してください。 2タイプの歩行器の新商品デザインを考えてください。 ①商品の分野、コンセプト、ブランディングの方向性等のイメージ・希望 等 ○依頼したい新デザイン 当社の強みと実績を活かし、2タイプの歩行器デザイン提案を募集します。技術力とデザイン性を兼ね備えた新製品を創り出すパートナーを求めています。 ○求めるデザインのコンセプト ・ 既存の安全機能を継承しながらも、より魅力的なデザインへと一新したいと考えています。 ・ 福祉用具業界に新風を吹き込む革新的な製品を開発し、製品ラインアップの拡充を図りたいと考えています。 ・ 使う人の心が前向きになるデザインにしたいです。 【商品 1】座面連動ブレーキモデル 機能性の継承 座面連動ブレーキの安全機能を踏襲しつつ、進化させた歩行器

株式会社アイルリンク_2タイプの歩行器の新商品デザイン

	《現行モデルの特徴》 ・ 座面連動ブレーキ ・ 使いやすい設計 ・ 幅広いユーザー ブレーキ作動 ブレーキ解除 【商品 2】男性特化型歩行器モデル ○求めるデザイン・コンセプト - 男性が使いたくなるワクワクする歩行器 - スタイリッシュなデザイン ○ターゲットユーザー ・ アクティブシニア ・ リハビリ中の方 ・ ギフト需要 ・ デザイン重視の方 ②自社技術で可能な加工、外注が必要な加工 弊社はファブレス企業です。すべて OEM 生産が前提です。 ■製造委託先の候補 1. 株式会社島製作所 https://www.shima-seisakusyo.com/ ・ アイルウォークシリーズの OEM 先 ・ 業界 2 位メーカー 2. 株式会社イーストアイ http://www.easti.co.jp/ ・ 台湾に提携工場あり。OEM 先として交渉の余地あり 3. 株式会社星光医療器製作所 https://www.seiko-aruko.jp/ ・ 自社工場あり。ただし屋外用は台湾の工場生産 ③現在の開発進捗状況（アイデア段階、試作品まで完成等） 【1】座面連動ブレーキモデルについては、現行モデルを踏襲、若干の機工アイデアを有しています。 【2】男性特化型歩行器モデルについては、ペルソナが確定している段階です。
デザイナーに期待すること	※こういった使い勝手のデザイン、こういったイメージのデザインを提案してほしい。商品の企画段階からブランディング、販路開拓まで一貫通貫して関わってほしい。など、デザイナーに対する要望を記入してください。

	1. 介護保険制度への理解 介護保険適用の福祉用具としての歩行器の定義と基準を深く理解し、その制約の中で最大限の創造性を発揮していただきたいと思います。弊社の専門家チームが、技術的な知見や支援体制を提供しますので、それらを積極的に活用して、共に製品開発を進めていきましょう。 2. 専門家との連携とモニタリング 当社の専門家チーム（理学療法士、福祉用具専門相談員など）の知見をデザインに反映させ、より機能的で安全な製品を目指していただきたいと思います。また、開発した製品は、実際に介護施設でのモニタリングを実施し、利用者からのフィードバックを基に改善を重ねていく予定です。このプロセスへのご協力をお願いいたします。 3. コンセプトへの共感と具現化 弊社の製品開発部門は「これからも、より良く生きる」というコンセプトを大切にしています。単なる道具ではなく、使用される方が前向きな気持ちで生活できるよう、デザインの力で「生きる喜び」を具現化していただきたいと思います。この想いに共感し、共に新しい歩行器を創造していけることを期待しています。
--	---